



写真撮影 齋藤写真事務所

アプローチ

所沢の家

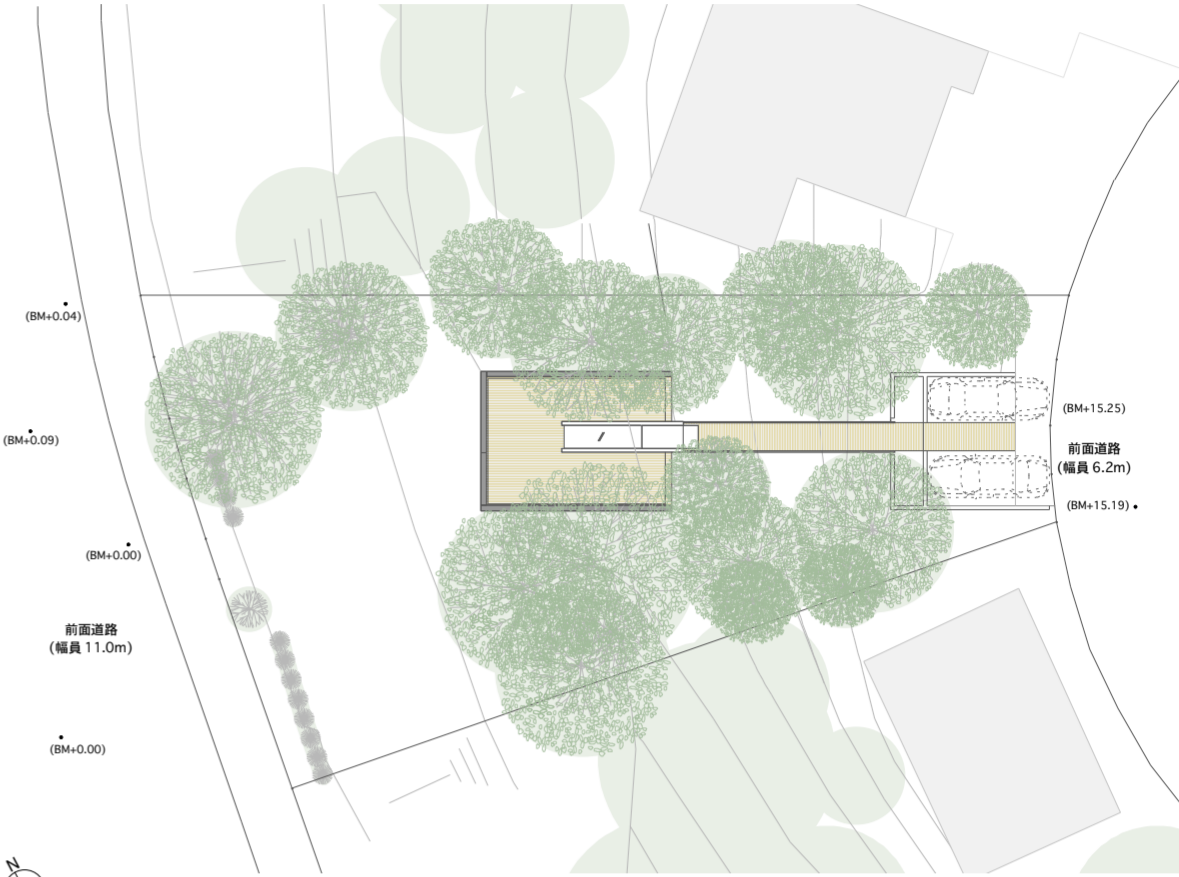
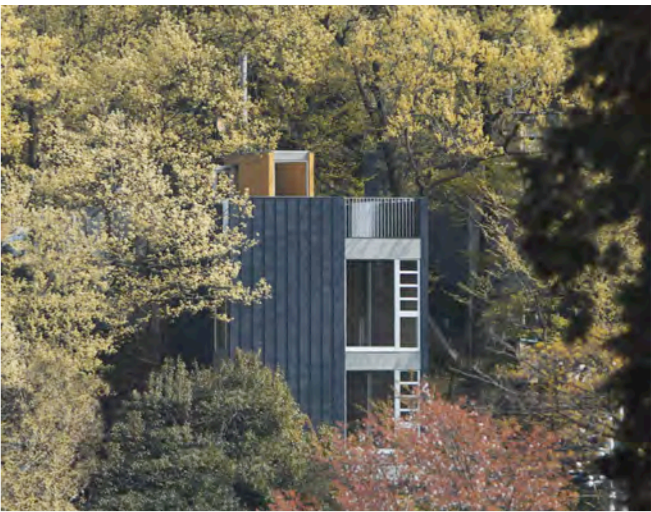
計画地はコナラの林に囲まれた自然豊かな北西傾斜地にある。この環境を自然共生のできる住まいへと変えて行くことが計画の主眼である。
設計では配置計画と建築環境に周囲の条件を積極的に関与させること、緑の中からこそできることを意図した。
外観は周囲に対して建物の存在感をできるだけ押さえるよう、高さの検討や材料色彩の計画を行い自然共生を図った。また内部は3層を1空間として換気や空調計画を行い効率の良い省エネ空間を実現している。原則部屋を持たない空間は微環境の違いにより居場所を変え、これから創り込む猶予が与えられている。
あたたかも里離れた地にあり自然環境を享受し「住まう」ことへの意識を高めてくれる住宅を目指した。

1. 景観、地形を考慮した配置計画

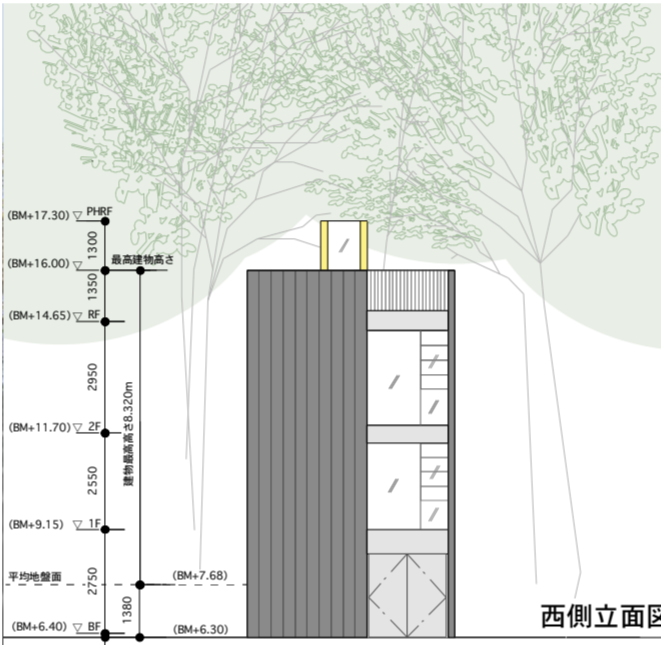
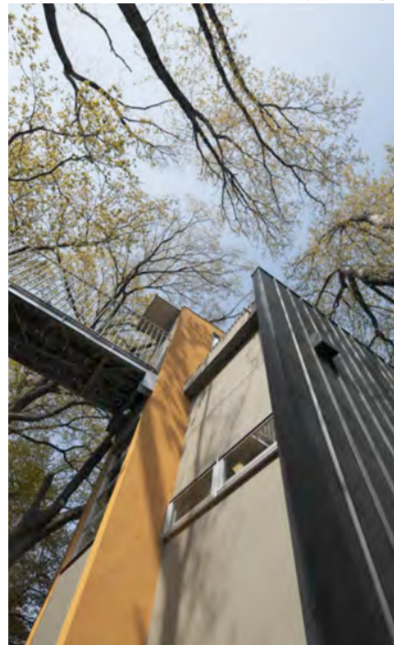
- ・建物全体が保存樹木の樹冠に覆われるようにするため道路より離れた傾斜の中腹に配置計画を行った。これにより建物は森の中に隠れ近隣への距離を保ちながら存在感を消すことになる。この敷地内の樹木は十分に事前調査して保存を中心にした配置とし、建設においてはむやみな造成は行っていない。
- ・外壁は黒を基調として近隣や森林に対して光が反射しないよう馴染む外観とした。
- ・アプローチはブリッジで中空を渡るようにしてその間の地盤や樹木に影響のないようにした。
- ・屋上はデッキテラスで自然とのふれあい場とし、空、樹木、鳥等との共生空間になっている。



案内図 1 : 3000



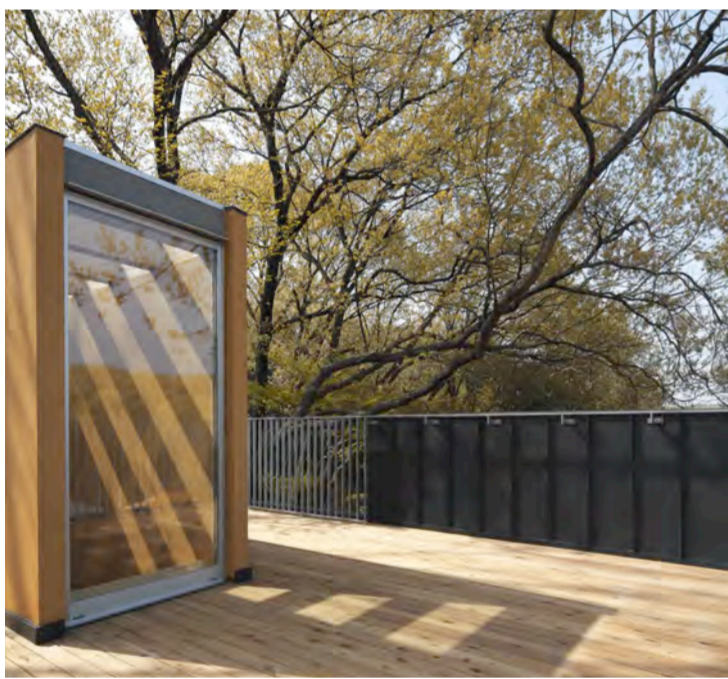
配置図 1 : 300



西側立面図



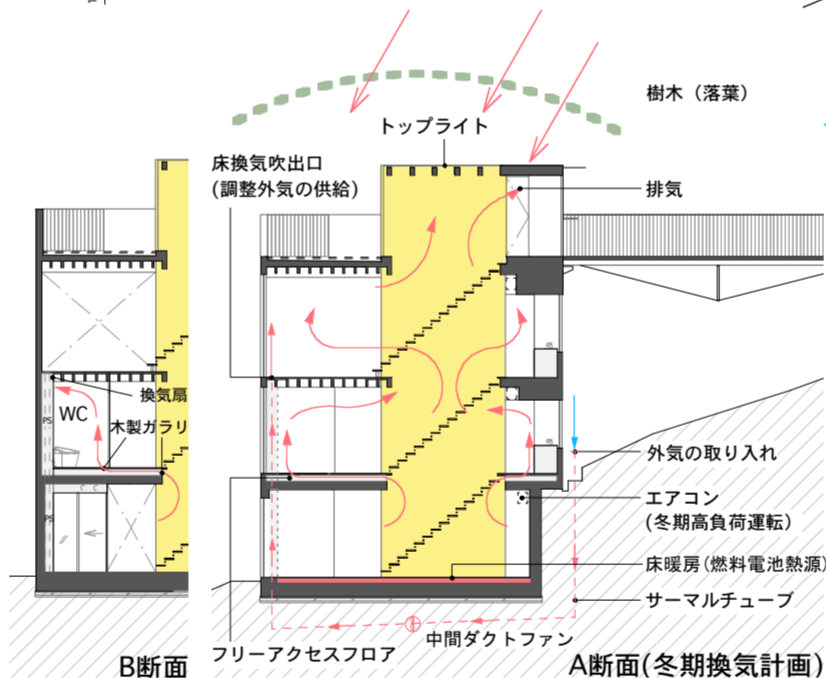
南側立面図 1 : 200



RF デッキテラス

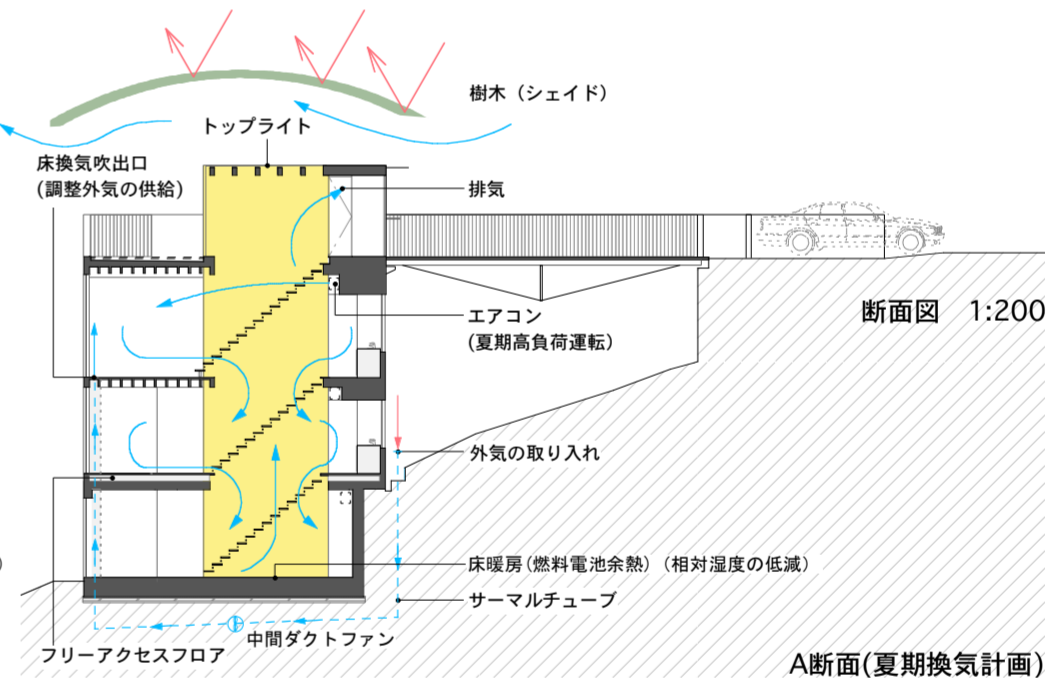


RF 階段トップライト



B断面

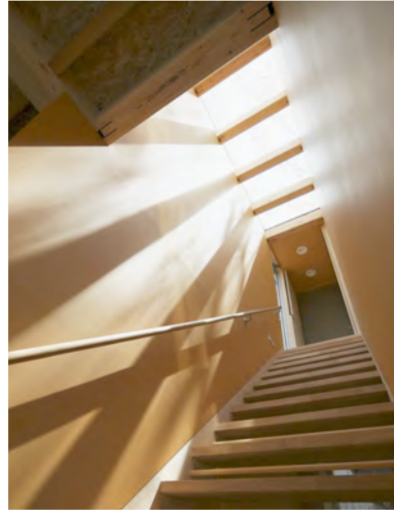
A断面(冬期換気計画)



A断面(夏期換気計画)



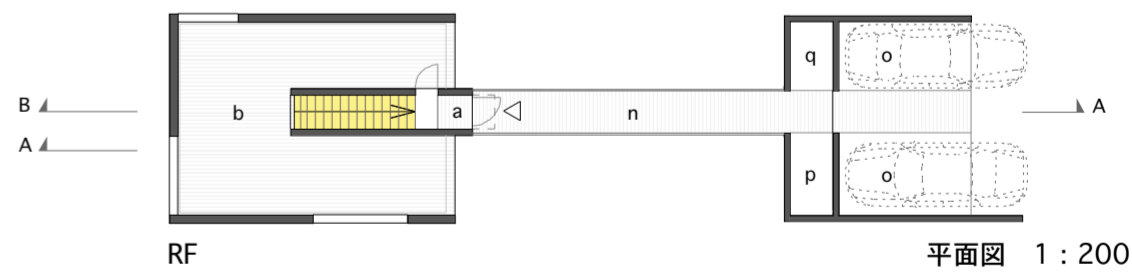
2F リビングダイニング



2~RF 階段

2. 立地条件に即した環境計画

緑を住まい環境の一部と捉え、落葉樹であることを考慮し建物を覆うように保存した。夏はシェイドとして日照を和らげ木陰を通る涼しい風を生み、冬は落葉してあたたかな陽光をもたらしてくれる。
斜面に建てることで生まれる半地下には、換気配管を埋設し、夏は涼しく冬は暖かい予熱を利用した導入空気の外気負荷低減を図った。例えばダイニングはパーソナル空調としてこのサーマルチューブの換気吹出口からファンの動力だけで局所冷房が可能になっている。最下部には床暖(燃料電池熱源)が埋設してありエアコンを併用しながら、換気計画と同じように建物を暖気が巡るようになっていて自然力(地熱利用)と省エネ機械力との組み合わせになっている。
便所の排気は置換換気方式(床から給気して上部で排気する方式)により高効率化を図った。



平面図 1 : 200



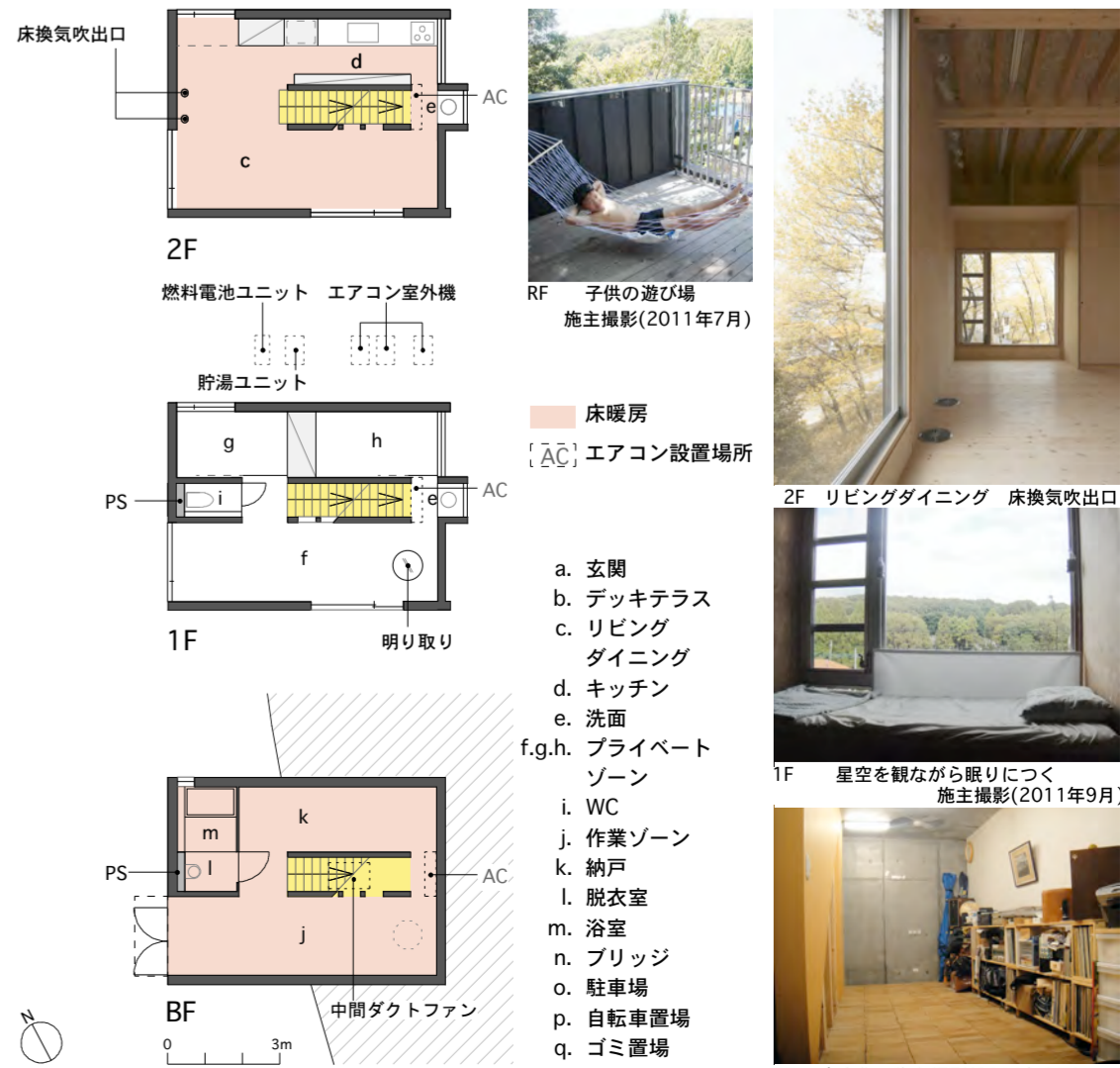
1F プライベートゾーン(f)



2~1F 階段

3. 階段を中心に据えた平面計画

平面計画では建物の中心に階段を置き、人と空気がこれを通るといふ無駄の無い空間とした。原則として個室はなく、住人には環境選択権を持たせている。最上部の玄関から徐々に降りてくるに従いプライベートな空間と変わって行き、地下はユーティリティとして外部と内部の中間の利用を目的とし、そしてまた外部に通じて行く。
内部環境も建物全体が階段を通じて一体空間で呼吸するように考えた。中央の階段は単なる上下動線だけではなく、換気塔として空気が巡るように蹴込部分をルーバー状にし、エアコンもこの段板ルーバーを通して風を送る。さらに壁は漆喰系の塗料を使用し空気の浄化を図った。
階段上部にはトップライトがあり内部に穏やかな光をもたらす北西斜面でありながら明るい室内を実現し、さらには降り注ぐ木漏れ日が外部に居るような感覚をもたらすよう計画した。住人は空気と同じように階段を通り回遊しながら家を巡る。その間に緑の環境だけが目に飛び込んでくるよう開口部は近隣からの視線をかわすように配置され、まるでツリーハウスに在るような感覚になる。いろいろな形で外部環境と関わることで自然共生の意識が高まるような住宅とした。
CASBEE戸建一新築 評価結果



RF 子供の遊び場 施工撮影(2011年7月)

2F リビングダイニング 床換気吹出口

1F 星空を眺ながら眠りにつく 施工撮影(2011年9月)

BF 書斎 施工撮影(2011年9月)



BF 作業ゾーン(夏期相対湿度低減のための床暖房+絶対湿度低減のための強制結露壁)

1~BF 階段

